

38期生（平成31年4月入学） 授業内容計画

教科名【 栄養指導論Ⅰ 】

教員名【 奥谷 香(実務経験のある教員(元保健所勤務栄養士))】

講義No.	授 業 内 容	
	大 分 類	内 容
1	栄養教育の概念 その1	栄養教育の目的・目標、栄養教育と生活習慣 栄養教育の対象と機会、指導の場
2	栄養教育の概念 その2 (栄養調査と健康づくり)	国民健康・栄養調査、食生活・栄養に関する調査 実践：24時間食事思い出し法
3	栄養教育の概念 その3 (栄養教育に活用する基礎知識 と教材)	24時間食事思い出し法の実践から振り返り 健康な食生活管理に活用する知識、教材
4	栄養教育 その1	健康・栄養教育の背景と推移 健康・栄養教育の歴史、目的 ライフスタイル改善のための社会的支援
5	栄養教育 その2	健康・栄養教育の実施、評価 対象と方法、留意点(個別・集団) 健康・栄養教育プランニング
6	行動科学理論と栄養教育 その1	行動変容とは 概念:オペラント学習、健康信念モデル、行動変容段階 モデル、計画的行動理論、コミュニティオーガニゼー ションなど
7	行動科学理論と栄養教育 その2	行動療法に基づく健康支援の方法 実践：食行動の形成と栄養教育 (計画的行動理論・社会的認知理論)
8	栄養カウンセリング (特徴と基本姿勢)	カウンセリングとは、面接法、理論 基本姿勢、開いた質問・閉じた質問
9	食環境づくりと栄養教育	食物、情報へのアクセスと栄養教育 組織・集団への栄養教育 組織づくり・地域づくりへの展開
10	栄養マネジメントⅠ	栄養マネジメントの枠組み 健康・食物摂取状況のアセスメント
11	栄養マネジメントⅡ その1	栄養教育プログラム作成、実際の流れ 目的設定の意義と方法 実践：学習指導案の作成
12	栄養マネジメントⅡ その2	栄養教育プログラム作成 実際の流れ、教材の選択、学習形態の選択 討議形式的にの種類と内容
13	栄養マネジメントⅢ	栄養教育の評価 目的、評価のデザイン、種類
14	栄養指導論Ⅰ	授業のまとめと質疑応答
15	学期末試験	

到達目標：・栄養教育(指導)の目的と必要性を理解する。

- ・栄養教育(指導)の対象となる方法、教育のための媒体・教材、情報収集の方法を学び、栄養教育を効率的に行う知識を修得する。
- ・食行動の成り立ち、およびその変容の背景を行動科学的観点から理解し、行動変容に関する理論やモデルを応用した教育方法を習得する。

教科書名【 栄養教育論 春木 敏著 医歯薬出版 】

単位履修の方法と達成度の測定方法

授業の出欠と期末試験にて判定

- ・授業評価は出席回数が10回以上無ければ、D判定となり期末試験を受験できない。
- ・S・A・B・C・Dで判定(Dは不合格)
- (総合獲得点数 S:90点以上 A:80~89点 B:70~79点 C:60~69 D:59点以下※不合格)
- ※D評価の者は、教員が必要と判断した場合には再試験を行うことができる。